

今号の作業

マフラーを組み立てる⑥



今号では、前回の作業で仮組みしたマフラーにエキゾーストパイプを取り付け、3番マフラーを完成させる。手順は15号と同じで、ポイントは前回の作業で確実にタップを立てているかどうかだ。それさえ問題なければ、今回の作業もスムーズに行える。

今号のパーツ



- ①ディフューザーパイプ×1
- ②エキゾーストパイプ3番×1

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

使用する道具

・+(プラス)ドライバー(1番)

用意するもの

・エキゾーストマフラー3番(18号で仮組みしたもの)
・ビス(Pタイプ/2.3×5mm)×4(18号で提供し、保管しておいたもの)

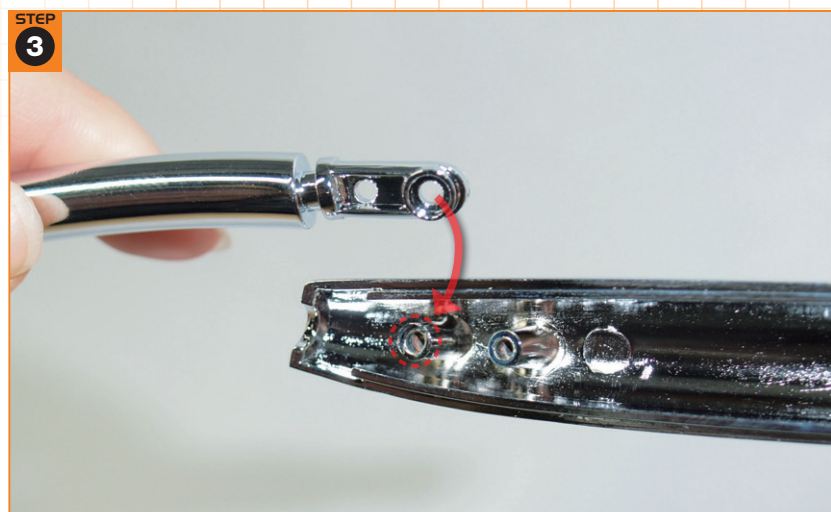


前回の作業で仮組みしたエキゾーストマフラーを用意し、マスキングテープをゆっくりとはがして、パーツを2つに分けておく。



「A」の刻印があることを確認する

②エキゾーストパイプ3番を用意し、先端にビス穴が開けられている側をチェックする。写真のように「A」の刻印があればOKだ。



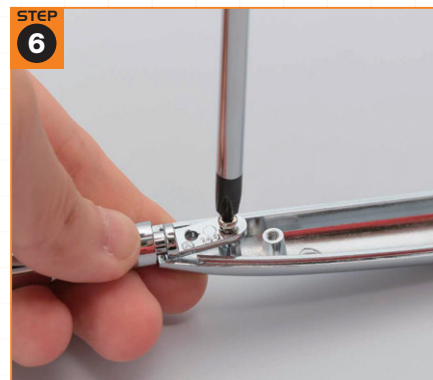
エキゾーストマフラー3番・外側を用意して裏返す。細くなっている側の一番端にあるポストに、エキゾーストパイプ3番の取り付け部分をセットする。



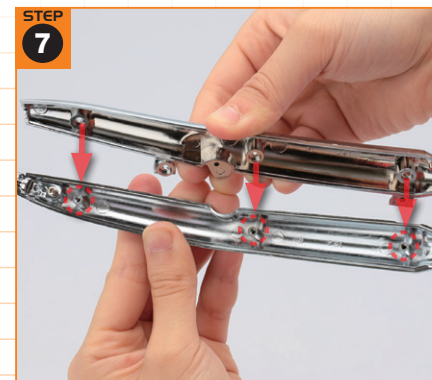
STEP 4
エキゾーストパイプの取り付け部分にはリング状の突起が設けられているので、そこにポストの先端を確実にはめ込む。



STEP 5
Pタイプのビスを用意し、エキゾーストパイプのビス穴にセットする。



STEP 6
1番のプラスドライバーを使い、Pタイプのビスをしっかりと締め込む。



STEP 7
次にエキゾーストマフラー3番・内側を用意し、取り付け位置の確認を行う。エキゾーストマフラー3番・外側には、3カ所のポストが用意されているので、そこにビス穴を合わせる。



STEP 8
エキゾーストマフラー3番・内側と外側それぞれのポストは、先端部分がはめ込めるようになっているので、位置を合わせてはめ込む。



STEP 9
エキゾーストパイプを取り付けた側のビス穴にPタイプのビスをセットする。



STEP 10
1番のプラスドライバーを使い、Pタイプのビスをしっかりと締め込む。



続いて、中央のビス穴にもPタイプのビスをセットする。



1番のプラスドライバーを使い、Pタイプのビスを締め込む。なお、このビスは⑭で緩める場合があるので、締めすぎないように注意しよう。



①ディフューザーパイプを用意し、マフラー後端の形状と照らし合わせてみよう。ディフューザーパイプの側面にはくぼみがあり、マフラー開口部の内側には突起があるので、この位置を合わせて差し込む。



ディフューザーパイプをマフラー開口部から真っすぐに押し込む。固くて押し込みにくい場合は、⑫で締め込んだPタイプのビスを少しだけ緩めよう。



マフラー後端のビス穴に、Pタイプのビスをセットする。手に持ったときに下の位置にくるビス穴は、4番マフラーとの連結用なので、間違えないよう注意すること。



1番のプラスドライバーを使い、Pタイプのビスをしっかりと締め込む。⑭で中央のビスを緩めている場合は、この段階で締め込んでおこう。

今号の完成



今号の作業はこれで完了。マシンの右側面下側に装着される3番マフラーが完成し、残るマフラーは右側面上側の『4番マフラー』だけとなった。組み立てたパーツは次回の作業に備え、大切に保管しておこう。